

たたら文化遺産



公益財団法人

可部屋集成館

不昧公200年祭記念企画



地氣人情兩神
開野梨香林等
庭間使知録鏡
唐木刺前取室
刈一角山
煎茗焚香無少
閑清穆軒下敷
旬間茶公情合
畫師意直以真
山為假山
明治十一年庚寅秋宿
櫻井兄之清穆軒者
教句偶得二絶乃作前
庭小景併題詩并呈
一筆名家裝璜為景
又聞此庭不昧公所神
蘇同凡為
五八山楚田藏

大名茶人・松平不昧が名付けた 名勝櫻井家庭園 岩浪

まつだいら

ふまい

IWANAMI



大正時代の櫻井家庭園



岩浪

山崎の茶屋の
おみせの
お茶の
おまかせ
不昧書

平成三十年度 展示 予定

本年は、
不昧公に
ちなんだ展示
を開催します。

春季 3月下旬 - 6月中旬
夏季 6月中旬 - 9月下旬
秋季 9月下旬 - 12月上旬



可部屋集成館公式ホームページやfacebookでも季節の移り変わりなどの情報を更新しています！



集成館シンボルキャラクター
たたらダンヌもん



可部屋集成館

可部屋集成館は隣接する櫻井家に江戸期から伝わる美術工芸品、歴史資料を展示した歴史資料館です。

櫻井家は松江松平藩の鉄師頭取を勤め、そこで使われていた“たたら製鉄”の道具や有形民俗資料、藩主お成りの際に使用された掛け軸、床飾り等の調度品があります。

櫻井家住宅・日本庭園

櫻井家は島根県奥出雲町にある戦国の武将塙団右衛門の末裔家です。

大坂夏の陣で始祖討死の後、嫡男直胤は母方の姓「櫻井」を名乗り広島福島の福島正則に仕えましたが、同家改易の時広島の郊外「可部郷」に住み鉄山業を営みました。

正保元年(1644)3代直重は出雲領上阿井の地に移り、屋号を「可部屋」と呼び「菊一印」の銘鉄を創り出しました。

その業績は松江藩に認められ、やがて5代利吉は「鉄師頭取」の要職を拝命し広く地域内の鉄山業を総取り仕切りました。

また、「菊一」は、日本最高の鉄砲鍛冶集団である「国友」の年寄脇国友一貫斎藤兵衛が最も良い鉄砲地鉄として認め、松江藩より「御鉄砲地鉄鍛方」も命ぜられていました。

現存する建物のもっとも古いものは享保二十年(1735)の記録があり、母屋も元文3年(1738)に建てられたものです。

住宅は国の重要文化財、県の有形文化財に指定され、庭園は国の名勝に指定されています。

料金について

		可部屋集成館 櫻井家庭園	共通券	可部屋集成館	櫻井家庭園
一般	個人		1,000	700	400
	団体		900	600	
高・大生	個人		650	400	300
	団体		600	350	
小・中生	個人		450	300	200
	団体		400	250	

※ 団体は20名以上です。

※ 障がい者の方(身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者福祉手帳をお持ちの方)は半額です。



交通のご案内



重要文化財 櫻井家住宅

たたら四百年の歴史